

求人票の早期提出と高校生の採用枠拡大を！

～県、秋田労働局が経済団体に新規学卒者の採用枠拡大を要請～



6月3日(水)、堀井啓一副知事をはじめ、神田義宝秋田労働局長などの行政機関関係者や就職希望の高校生代表等が秋田県商工会館を訪れ、本会など経済5団体の代表者等へ新規求人票の早期提出と採用枠拡大の要請を行った。

堀井副知事は、「秋田労働局の調べによると、今春の県内高卒者の県内就職が前年同期より260人減って1,444人となった一方、県外就職者は113人増えて1,273人となった。県内に残りたいという若者はたくさんいるので、若年者が一人でも多く県内に就職できるよう、求人票の早期提出と採用枠拡大について傘下企業に周知頂きたい。」と述べ、経済団体の積極的な対応を要請した。

これに対し本会高橋専務理事は、「採用を行った企業等に対し、公共事業等の発注を優先するなどの対応をお願いしたい。」などと要望した。

これに対し県側からは「採用した企業への優遇措置については検討中であるので、早期に実現できるように努めたい。」との返答があった。

なお、来春の高校卒業予定者向けの求人票の受付は、6月20日から始まっている。



要請書を受け取る本会高橋専務理事

参考：平成21年3月新規高校卒業生就職状況

	就職希望者数			就職決定者数			決定者数に占める県内決定者の割合	就職決定率(全体)
	計	県内	県外	計	県内	県外		
20年3月卒	2,884	1,724	1,160	2,864	1,704	1,160	59.5	99.3
21年3月卒	2,789	1,512	1,277	2,717	1,444	1,273	53.1	97.4
前年比(実数)	▲95	▲212	117	▲147	▲260	113		
前年比(率)	▲3.3	▲12.3	10.1	▲5.1	▲15.3	9.7	▲6.4	▲1.9

資料：秋田労働局「新規高卒職業紹介状況」(平成21年4月末現在)

第三セクター鉄道の利活用促進について

～秋田県からのお知らせ～

秋田内陸線及び鳥海山ろく線は、地域住民の生活の足として重要な役割を担っているとともに地域経済の自立・振興の観点からも重要な社会インフラですが、少子高齢化やモータリゼーションの進展等に伴い、その経営については極めて厳しい状況が続いております。

つきましては、一層の利活用を促進するため、

- ① 事業や行事での利用、会員向け広報誌によるPR等

- ② 職場の親睦旅行や家族旅行などの職務外での利用

についてご協力下さるようお願いします。

なお、三セク鉄道の現状や沿線地域に関する情報提供、現地での説明等を希望される場合は随時対応しますので、次へご連絡願います。

○お問い合わせ先

秋田県建設交通部建設交通政策課
三セク鉄道利活用促進班

(☎ 018-860-1283)